

連盟通信えひめ

発行所

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL 089(923)1595

発行責任者 植岡道玄

平成20年度 愛媛県看護連盟通常総会 ならびに特別講演会

と き 平成20年6月22日(日)

10:00~15:00

ところ (社)愛媛県看護協会
看護研修センター2階大研修室
松山市道後町2丁目11-14
TEL089(923)1287



プログラム

- 9:30 開場 受付
- 9:50 オリエンテーション
- 10:00 開会 物故会員への黙祷
あいさつ
愛媛県看護連盟 会長 植岡道玄
(社)愛媛県看護協会 会長
愛媛県看護連盟 顧問 杉本富恵
来賓祝辞(来賓紹介)
祝電披露
- 10:30 議長団選出
報告事項
 1. 通常総会報告
 2. 役員会報告
 3. 日本看護連盟関係会議報告
 4. 日本看護協会・看護連盟合同会議報告
 5. ブロック別都道府県会長会議報告
 6. 四国ブロック協議会報告
 7. 都道府県別会議報告
 8. 活動報告
 9. 支部報告
 10. 広報委員会報告
 11. 収支決算報告
 12. 監査報告
- 11:10 提出議題
 1. 平成20年度スローガン(案)について
 2. 平成20年度活動計画(案)について
 3. 平成20年度収支予算(案)について
 4. 規約改正について
 5. 役員改選について

綱領宣言
連盟の歌斉唱
- 12:00 閉会
休憩・昼食
- 13:30 特別講演会
講師 松山東雲女子大学教授 塩崎千枝子先生
- 15:00 終了

青葉香るさわやかな季節になりました。

会員の皆様には日頃からご支援・ご協力頂きまことに有りがとうございます。

今年度も「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに愛媛県看護連盟も組織強化に向けて頑張っているところでございます。支部を中心とする組織活動、なかでも各施設単位の強化を図り、会員の基礎研修に重点を置いた活動を行ってゆきたいと考えています。

今、世論は医師不足による医療の崩壊など現実化している中で、看護職もまた人手不足による疲弊の重積、職場環境の悪化、労働力に見合わない賃金体系など離職が絶えないことも大都市を中心に起こっています。

看護職の抱える問題を法的に解決・改善するため私達の代表を国政に送り出していることは皆様ご周知の通りです。これからの国政は医師には手厚い施策がとられるでしょう。その陰で看護職がおろそかにされてはたまりません。

私達の働く現場にこそ政治があることをご理解していただき、今年度も連盟活動にご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



平成20年度活動計画(案)

「勝つ組織をつくりあげる」

- 1.若手会員の政治参加を促進する
- 2.看護管理者への政治参加を促進
- 3.支部活動を活発にし地域に根ざした活動を促進する

日本看護連盟		愛媛県看護連盟
項目	目標	内容・目標
政治力の強化	政策の実現 1 日本看護協会が提言する政策や意見を国政に反映させる	・アンフィニ、ウィークリーの活用 ・看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する ・現場の声を国会・地方議員に伝える
	国会への影響力の強化 1 継続して看護職の国会議員を確保する 2 国会への影響力を強める 3 地方議員への影響力を強める 4 中期的視点に立ち議員候補者を育成する	・第22回参院選勝利のための活動を展開する ・国会議員との勉強会を実施する
組織の強化・拡大	組織体制・活動 1 リフォーム連盟に基づく組織体制の確立 2 20歳代会員の育成 3 看護連盟の理解者を増やす	・支部組織を整え、支部活動を中心に会員増を図り一人ひとりの活動力を強化する 会員目標5,500人 ・施設訪問の実施 ・若手会員の会費足 ・OB会の充実、定着を進める
	活発な情報流通 1 会員の意見を政策提言に活用する 2 会員及び無関心看護職に対する広報活動を推進する	・研修後の意見記事を徹底 ・ホームページの更新 ・連盟通信えひめ、支部だよりの発行 ・未加入者へ連盟通信えひめの配布
	知識普及・啓発 1 研修会活動を積極的に推進する	・支部が中心となり研修会を積極的に開催する ・ミニ研修会を多く開催し、すべての会員が一度は参加する ・支部役員、リーダーの研修会を開催する ・新規入会者研修を各支部単位で開催する ・男性、看護管理者、会員の各研修会を県連盟主催で開催する。 1回/年開催 ・本部で行われる研修会へ会員を派遣する ・国会見学の実施
組織の適正な運営管理	1 施設・支部・都道府県・本部・協会の一連した組織活動を推進する 2 事務局の運営を適正に行う(会員・財政・職員の管理)	・本部総会への出席 ・県総会を開催 1回/年開催 ・都道府県会長会、支部長・県役員合同会議への出席 ・県役員会、支部役員会の開催 ・連盟役員の協会理事就任 ・月次報告の提出 ・全国共通の収支管理システム活用 ・全国共通の会員管理システム導入活用
会員の福祉	1 慶弔への対応 2 諸問題への対応	・規約に基づき対応する(災害見舞い、物故者への弔意、受賞(表彰)者へのお祝い その他) ・団体傷害保険の加入 ・連盟本部へ連絡する ・専門家と相談の上、速やかに問題解決する

平成20年度予算(案)

収入科目	(単位：円)	備考	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
	20年度予算 (案)		19年度 予算	比較増減 (減)	19年度 決算額
会費	16,500,000	5000名	16,500,000		15,774,000
賛助会費	50,000	50口	50,000		22,000
預金利子	80,000		30,000	50,000	82,112
助成金	12,700,000		13,000,000	300,000	16,707,260
雑収入	0		50,000	50,000	6,600
計	29,330,000		29,630,000	300,000	32,591,972
前年度繰越金	30,549,811		30,679,502	129,691	30,679,502
収入計	59,879,811		60,309,502	429,691	63,271,474

支出科目	(単位：円)	備考	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
	20年度予算 (案)		19年度 予算	比較増減 (減)	19年度 決算額
会議諸費	12,000,000		14,000,000	2,000,000	5,082,804
総会費	2,000,000	6月開催	5,000,000	3,000,000	1,606,830
役員会費	5,000,000	県支部開催	5,000,000	0	2,737,694
リーダー会費	5,000,000	各支部開催	4,000,000	1,000,000	738,280
事業費	27,800,000		30,000,000	2,200,000	16,045,623
広報費	6,000,000	年4回発行	6,000,000	0	2,868,305
組織対策費	11,000,000	活動費	11,500,000	500,000	9,493,365
教育費	7,000,000	県支部研修	9,000,000	2,000,000	1,867,593
渉外費	1,000,000		1,000,000	0	166,360
支部助成金	2,800,000		2,500,000	300,000	1,650,000
運営維持費	17,000,000		15,000,000	2,000,000	11,593,236
人件費	11,000,000	給料社会保険料	9,000,000	2,000,000	8,845,039
光熱水費	500,000		500,000	0	500,000
備品・消耗品費	3,000,000	プリンター・パソコン	3,000,000	0	402,809
事務所費	2,500,000		2,500,000	0	1,845,388
計	56,800,000		59,000,000	2,200,000	32,721,663
予備費	3,079,811		1,309,502	1,770,309	0
支出計	59,879,811		60,309,502	429,691	32,721,663

総会費	会場費(花・看板) 旅費日当弁当(役員議長記録係り) 特別講演講師料
役員会費	県・支部役員会出席旅費日当その他(弁当、会場費等)
リーダー会費	会場費・旅費・日当
組織対策費	総会代議員旅費、一般会員旅費(国会見学) 本部主催会議研修会出席費 施設訪問費 会長活動費
教育費	研修会会場費等・講師料・協力員旅費等 支部研修会 ミニ研修
渉外費	中元・歳暮等・慶弔費
広報費	連盟通信えひめ印刷発送費 ホームページ更新 委員会旅費等
支部交付金	支部助成金
人件費	事務職員給料、手当 社会保険料等
光熱水費	看護協会へ支払
備品・消耗品	パソコン・プリンター等事務用品
事務所費	看護協会へ支払い(借料12万円) 駐車場(月5千円) コピー機、パソコンリース料 郵便料・電話料 振込手数料等

平成20年度 日本看護連盟通常総会代議員名簿

日時 平成20年6月6日(金)13:00~15:30

会場 東京プリンスホテル2F「鳳凰の間」

総会等日程

会場 東京プリンスホテル2F「鳳凰の間」東京都港区芝公園3-3-1

TEL 03-3432-1111

通常総会 平成20年6月6日(金) 13:00~15:30

国政等報告会 16:00~17:15

基礎研修推進研修会 17:15~18:00

番号	氏名	県・支部役職	所属
1	有請 千代美	県幹事長	自宅
2	安藤 静子	西条支部長	自宅
3	吉田 昭枝	今治支部長	済生会今治病院
4	鈴木 ルリ子	中予第一支部長	自宅
5	神尾 由美子	中予第二支部長	済生会松山病院
6	永江 隆	中予第三支部長	松山ベテル病院
7	巻田 すみ子	中予第四支部長	和ホスピタル
8	政岡 千種	中予第五支部長	自宅
9	内舩 眞知子	南予第一支部長	自宅
10	鈴木 文江	南予第二支部長	自宅
11	村上 かなえ	南予第三支部長	宇和島社会保険介護老人保健施設パール荘
12	大本 加代子	南予第二支部幹事長	帝京第五高等学校
13	大政 信子	中予第二支部幹事長	松山市民病院
14	鋪村 加代子	監事	愛媛県赤十字血液センター
15	神野 久恵	新居浜支部幹事	十全総合病院
16	安藤 キクエ	西条支部幹事	西条中央病院
17	正岡 美恵	今治支部幹事長	済生会今治病院
18	近藤 由美	中予第二支部幹事	済生会松山病院
19	林 良美	中予第三支部幹事長	松山赤十字病院
20	山本 千恵美	中予第四支部幹事長	北条病院
21	柳生 美賀子	中予第五支部幹事長	松山城東病院
22	福本 節子	南予第一支部オブザーバー	宇和島市立宇和島病院
23	佐藤 久美代	南予第二支部オブザーバー	西予市立野村病院
24	原 いづみ	南予第三支部幹事長	宇和島社会保険病院

「中予研修会を終えて」

財団法人永頼会松山市民病院 小松由美子

開催日：平成20年1月26日 会場：愛媛看護会館2階

寒さ厳しい中、57名の会員の皆様にお集まりいただき中予地区研修会を開催しました。講師の先生は『秘めたるま』編集長、小倉くめ先生です。涙あり・笑いありの約2時間でした。小倉くめ先生は、人と人の関わりを、ユーモアを交えた語り口でたっぷり私たち会員を刺激して下さいました。

小倉くめ先生は自ら障害を抱えながら、高齢のお母様の介護をした経験をお話下さいました。また高齢者や、障害者に対して、「特別扱いはいらない、同じ目線で対応して」「障害者に生まれたことをプラスにして生きよう」と熱く語られました。

聴講した会員からは、「人は哀しさや苦しさを知り、優しさを蓄えていくことを強く感じました」「今の日本が抱えている老老介護の現実を国会に届けようと決意を新たにしました」などの感想が寄せられました。

私も、来るべき両親の介護にも朗らかに対応できる、逞しさと優しさを持ち合わせたいと痛感しました。



南予研修会「かまぼこ板展との出会い」

西予市立宇和病院 宇都宮 絹子

開催日：平成20年2月2日 会場：ホテルクレメント宇和島

私と、かまぼこ板展との出会いは、長女が小一の頃です。学級PTAの役員となり、何か記念になるものを出し、出した作品すべてが展示されると聞いて親子で出品した時でした。

今回、研修で実際に浅野幸江先生に会い、立ちあげからの苦労話をお聞きしながら、多くの作品の中から自分の作品を見つけたあの感動の瞬間を思い出し、熱い思いで先生の話に引き込まれていきました。らくがきみたいなものでも、すべて展示するという事は、すべての方に平等を意味しており、たくさんの作品が集まるほどに、職員にとっては重労働になったのではないのでしょうか。でも、それを苦にもせず、チームワークで乗り越えた姿には、頭が下がります。たった一人では、できない夢でもたくさんの人の力によって現実となって、たくさんの夢を人にあたえるまでになったその原動力には、人の思いや、強い心の力が感じられます。

その強い心は、私たちの仕事にも通じるものがあるのではないのでしょうか。私たちの思いが、冷たく閉ざされた心を開き、笑顔が返ってきた時、私にも大きなエネルギーとなっていることに気が付きます。

一人一人の患者様との出会いは偶然ではなく必然、その中から私たちは悩み、学び、成長するのではないのでしょうか。一つ一つのかまぼこ板の作品がちがうように、一人一人の患者様から受けるものはちがいに、向き合い方も変えなくてはいいけません。でもその中で患者様の心の中に、一板のかまぼこ板のように、思い出のひとかけらになれるような看護師になれたら最高です。

日常の中にある、小さな出会いや、心に響いた小さな種を大きな花へと咲かせられるよう日々努力したいと思います。



「看護管理者トップセミナー」に参加して

住友別子病院 齊藤由美子

開催日:平成20年3月1日 会場:愛媛看護研修センター

「坂の上 遠く輝く白き雲 見つめて進む足下の一步」 勤労! 分度! 推奨! 平成20年発想の鍵図として色紙に力強く自書された色紙を示しながら、小野晋也先生が熱き思いを語られました。

深刻化する地域医療の現状を理解し、国政に反映させるべくご尽力される姿は大変ありがたく、「ベッドサイドから政治を変える」のキャッチフレーズのもと、看護連盟活動に確かな希望の光が見えたように感じます。活動を続けるため看護の代表を常に国政の場に送り続けることが出来るように連盟活動に力を尽くしていかなければと再認識しました。

活動を続けるためには、心身共に健全であることが大切です。「ありがとう」で病気は治り「こんちくしょう」で病気になる。これは免疫学の世界的権威である、安保徹先生の著書の「疲れをためない生き方」にある一説です。プラスの感情の中で思い描きやすいのは《感謝》です。喜びや希望、誰かをいとおしむ気持ちはきっかけがないと起きるものなそうですが、感謝の気持ちは比較的描きやすいそうです。自分が、今何に恵まれているかを見つけ、「ありがとう」という気持ちになるわけです。感情豊かに大自然と繋がった自分を感じ取り、完全主義を貫くのではなく、大らかに7割主義で生きてみるのが丁度良いようです。しかし、大らかさだけで人生を終えた場合、物足りない後悔も出てきます。自分の人生をかける様な場面では、10割の力を出し切る覚悟を持つ事も大切です。元気一杯に仕事をしながら幸福感を抱いて生きていく事! 疲れを貯めない生き方とは、メリハリの利いた人間の体の自然な在り方になつた生き方をすることなのだそうです。小野先生に紹介いただいた「十河信二先生」の生き様は、私のこれからの人生の支えとさせていただきます。今回「看護管理者トップセミナー」に参加して、多くの学びと感謝の心を頂きました。ありがとうございました。



悔も出てきます。自分の人生をかける様な場面では、10割の力を出し切る覚悟を持つ事も大切です。元気一杯に仕事をしながら幸福感を抱いて生きていく事! 疲れを貯めない生き方とは、メリハリの利いた人間の体の自然な在り方になつた生き方をすることなのだそうです。小野先生に紹介いただいた「十河信二先生」の生き様は、私のこれからの人生の支えとさせていただきます。今回「看護管理者トップセミナー」に参加して、多くの学びと感謝の心を頂きました。ありがとうございました。

「あべ俊子後援会拡大活動」参加報告

中予第五支部長 政岡千種

- ・日時:平成20年2月22～24日
- ・第1日目:3人 津山市旧加茂町 ・第2日目:6人 津山市旧加茂町
- ・第3日目:6人 津山市高野山西地区

報告

第1日目:12時20分津山着。事務所でミーティングの後、2台の車に分乗し現地到着。二手に分かれてそれぞれ事務所の方について頂き訪問開始。田舎で家が離れている上に留守宅が多く、空家もぼつぼつみられた。家に居るのは高齢の方ばかりで、医療福祉面で不安があるのか、あべ俊子議員が看護師出身である事を説明すると、概ねいい反応だった。留守宅のポストに入れる資料も帰宅した家人の目にすぐとまるように入れ方を工夫したりして1日目は108軒訪問。宇和島の知名度が思いの外高く、それに助けられた面も多かった。

第2日目:後発の3人と合流し、合計8人が二手に分かれて山間部の物見地区へ入ったが、24年ぶりの大雪とかで思うように動けず、手元の地図や資料にも容赦なく雪が吹きつけ、南国育ちの我々にとってはいきなり厳しい洗礼であったが、そういう中での訪問は普段の何倍も効果がある事を実感しつつ、113軒の訪問で、事故防止のため早目に切りあげた。

第3日目:新興住宅地である押入地区への訪問予定であったが、日曜日でもあるし雪も降っているので在宅者が多いだろうと予想し、1人でも多くの人と対話したいということで高野山西地区に変更になった。大雪の上に風も強く、おまけに平沼さんの地盤ときて、3日間で一番厳しい訪問となったが、最後まで気を抜くことなく110軒訪問し、あべ俊子議員の後援会の拡大を念じつつ、爽やかな気持ちで岡山を後にした。



師 故梅本勝子先生を偲んで

国立愛媛療養所附属看護学院一期生 渡部昌子

梅本先生は平成19年12月2日99才で一生を終えられた。最期まで先生ご自身そのままであられた。凛として、礼儀正しく、人の話に真摯に耳を傾けられ、看護の推移に何時も心を馳せられるそのお姿が言葉より強烈に人の心を打つ先生であった。

先生は、ご承知のように戦時中、日本赤十字社救護看護婦長として、野戦病院等国内外を問わず、傷病兵の看護に努められた。そして戦後の処理を終えられ、国立愛媛療養所附属看護学院に教務主任として入られた。

先生はその後、国立の施設で総看護婦長として勤務されたが、在職中を通して一貫して戦前から戦後の看護の変遷に伴う根本的な改善に尽力された。戦後、看護は米国のGHQ公衆衛生看護課の指導により看護改革が進められ、すべての看護師に再教育の徹底が行われた。現在の看護教育の体系化はこの時代に始まった。臨床でも看護組織の確立、勤務体制、労働時間の改善と、昼夜の別なく働かれたと聞いている。国立の施設を退職後は松山医師会立看護専門学校で勤められ、日本看護協会設立時の愛媛県支部の準備、本部の役員等で活躍され日本看護協会名誉会員となられた。その間日本看護連盟愛媛県支部の支部長も歴任され、亡くなるまで連盟会員として活動を続けられご指導いただいた。

また昭和56年にフローレンス・ナイチンゲール記章を受章されている。

先生は学生である私達のちょっとした行動にも厳しい目を向けられ、この環境で学んだことを肝に銘じて役割を果たすようたしなめられた。卒業後は同じ看護に携わる者として接していただき、私達を伸ばして励まし続けて下さった。

先生の何分の一にでも近づきたいと願いをこめて 合掌。

N 【アンフィニ】とは



私たちが携わる看護には、その奥行きの高さ、多様性、対象の幅広さ……、どれをとってみても、限りない無限の広がりがあります。何十万人の看護職が、何十年かけて看護を行っていても、ひとつとして同じ看護はありません。

看護は、まさしく無限大の実績と可能性をもっている、そう思いませんか？

「アンフィニ」は、「無限大」を意味するフランス語。日本看護連盟の機関誌のタイトルに、看護を象徴する言葉として、この「アンフィニ」を選びました。

それだけではありません。実は、「アンフィニ」にはもうひとつの意味が込められています。

質の高い看護を提供し続けるためには、看護職一人ひとりの努力だけでは無理があります。私たちの努力を阻んでいる本当の原因は、人員配置や労働環境等をきめている制度の未整備なのです。質の高い看護を提供したいなら、制度を変えていくことが先決です。

看護連盟のスローガンは「ベツサイドから政治を変える!」です。

ベツサイドの声を政治に伝える、その結果、制度が変わり看護の質が向上する。こんな現場と政治のあるべき関係を、2つの結びついた「 (=)」で描いてみました。現場の「 」と政治の「 」がしっかり結びつき、お互いに行き交い、高めあっていくことが「アンフィニ()」のもうひとつの意味です。

そう「アンフィニ」は「看護」であり「連盟」なのです。

日本看護連盟幹事長 石田 昌宏

看護連盟入会のご案内

平成20年度会員獲得目標数 **5,500名**

みんなで 元気に 明るく 楽しい 活動をしていきましょう
一人が一人をさそって行動しましょう

年会費 8,000円 (日本看護連盟 年会費5,000円 愛媛県看護連盟 年会費 3,000円)

ただいま入会手続き受付中

資料・申込書 請求先 愛媛県看護連盟

〒790-0843 松山市道後町2丁目11-14

TEL 089-923-1595 FAX 089-923-1598

平成20年度通常総会委任状の提出について

総会は、愛媛県看護連盟規約第22条により会員の過半数の出席により成立します。やむを得ない事情により出席できない方は、委任状 別紙 に必要事項を記入して施設でおとりまとめの上6月14日までに愛媛県看護連盟事務局までご送付ください。

特別講演会のご案内

総会終了後午後1時30分より松山東雲女子大学 塩崎千枝子先生をお迎えして特別講演会を開催いたします。身近な社会問題など取り上げてお話いただけると思っています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

原稿募集のお知らせ

ユニフォーム紹介コーナーを連載します。

あなたの施設のユニフォームをご紹介ください。施設、部署などから広く募集いたします。写真とコメント(200字以内)を送ってください。お待ちしております。

原稿
募集
後記

この時期は、看護週間・看護の日の記念行事があり、日本看護協会、日本看護連盟の通常総会、愛媛県の看護協会、看護連盟の通常総会と、看護に関するさまざまな行事が続きます。

6月22日(日)は愛媛県看護連盟通常総会が開催されます。新人看護職の皆様もお誘い合わせてご出席ください。

広報委員//大野夕エ子・井上より子・金沢千代・向井すが子・大河美由紀

担当役員//有請千代美・政岡千種